

特集1 牛久市の第三セクター

牛久市には、直接設立にかかわった第三セクターとして3つの法人があります。

これらの法人の運営等については、市執行部より適宜報告を受けるとともに、本議会における一般質問等で取り上げることも多くあります。

ここでは、そのうち2つの法人の状況等についてお知らせします。

◆◆◆ 第三セクターとは ◆◆◆

国や地方公共団体（第一セクター）と民間企業（第二セクター）の共同出資によって設立される事業体。地域開発など本来は国や地方公共団体が行うべき事業を、民間の資金・能力の導入によって官民共同で行おうとするもの。

うしくグリーンファーム（株）

【設立の経緯】 平成22年、新規就農者の育成及び耕作放棄地の解消を目的として当初行政主導で営農が行われたが、民間企業としてより主体的に採算性を考慮した地域農業振興が必要との考えから、平成23年に市が100%出資（1,000万円）する第三セクターとして設立された。平成27年には市から4,000万円の増資を受け、生産活動の拡大を図るため農地7.6㌃（阿見町）を取得し、農業生産法人となった。

【事業の概要】

- 耕作放棄地再生事業 市内40㌃の農地を管理し、後継者のいない農地を借り受け耕作し、新たな担い手につなぐことも行っている。
- 地域貢献 市から委託されて約150カ所から回収した廃油で約5万リットルのBDFバイオ燃料を製造し、近隣自治体や市内事業所に供給している。また企業から仕入れた端材からペレット約100トンを製造し、市内公共施設や学校などで利用している。
- 農産物生産・加工・販売事業 主に大根、ジャガイモ、小麦、さつまいもの生産に取り組んでいる。ジャガイモはポテトチップスの原料となる品種の契約栽培をし、小麦は市内の保育園、幼稚園、小中学校の給食に提供している。またワイン用ブドウを収穫し、牛久産ワイン「レガーム」やぶどうジュースなどに加工し販売している。

【現状と課題】

耕作放棄地は市内に広く点在しており、なかには条件的に厳しい農地もあるが、耕作放棄地を未然に防ぐ社会的な役割も担っているとして引き続き耕作を行っている。

また農作物には価格変動と異常気象による収穫の変動がつきものだが、昨今はコロナ禍の影響で飲食店の営業状況の変化、イベントの中止などの影響もあった。その結果、農業売上は予定より大きく落ち込み、当期利益は740万円のマイナスとなった。これまで6名の新規就農者が独立し、担い手の育成事業としても貢献してきたが、収益としては4期連続での赤字となり、運営は厳しい状況である。



牛久シャトー（株）

【設立の経緯】 平成30年末をもって事業者が飲食・物販事業から撤退したが、牛久シャトーの再生を望む市民の声を受け、市は国指定重要文化財を後世に継承するため、旧レストラン施設等を賃借または自ら営業活動を行い収益を上げ、文化財の維持管理経費を確保することを目的とし、令和2年2月、市が99.87%出資（9,500万円）する第三セクターとして設立。

【事業の概要】

- 施設の維持管理 重要文化財である神谷傳兵衛記念館・オエノンミュージアムの管理は感染症対策を徹底し、園内は雑草・枯れ葉の除去等美化に努め、見学者への対策を行っている。
- 製造及びぶどう栽培 シャトー内のぶどう圃場は収穫数量を上げるための改善を行った。農芸学院との連携では、ぶどう栽培の指導、農芸学院ブランドワインの製造を目指している。果実酒（ワイン）・ビール・発泡酒の製造免許を取得し、新商品の開発・販売を行っている。
- 飲食・物販事業 ショップ・レストランは、まん延防止等重点措置解除後は回復を見せたが、コロナの感染状況に大きな影響を受けた。バーベキューガーデンは休業中。
- その他（撮影等） ドラマやCMなどのロケ地として多くの利用がある。

【現状と課題】

牛久シャトーの再開は新型コロナウイルス感染症の拡大と時期が重なったため、物販、観光のいずれも当初計画未達となり、厳しい経営状況に陥った。さらに、物販・飲食事業では原材料費の値上がり、人手不足など難しい状況が続いている。ワイン、ビールの製造と販売が始まったが、認知度向上と販売強化が求められる。

施設管理では、電気設備や水道設備などの老朽化への早期対応が必要である。一方で、ワインやビールの製造では、製造能力を拡大し、収益を増加させるため醸造タンクを増やす計画が立てられている。

市は、牛久シャトー（株）の経営安定化のため、令和3年度に2,000万円、令和4年度に5,000万円の補助金を予算化、令和4年度末までに今後の方針を決定するとしている。



牛久市では上記の他に、直接設立にかかわった第三セクターの法人として、エスカード牛久ビルの管理・運営、市営駐車場及び牛久市公共施設（一部）の管理・運営を行っている「牛久都市開発（株）」があります。